科目名: 成人歯科学Ⅴ＜障害者歯科、先端医療＞	必修	1単位(45時間)
(Dentistry for The Special Patient)		

履修年次/時期: 2年次　前期　　授業形態: 講義

主担当教員: 宮城 敦

主担当教員詳細: 実務経験 歯科医師50年:主に小児や障害者の歯科医療に携わってきた。歯科衛生士とし て障害者に共感できるように授業を進めていく

担当教員名:

学修目的	障害者の歯科医療では治療や指導および患者管理に特別の配慮を必要とする。その際に必要な身体的、知的、および精神的特徴と特有の口腔機能障害について理解する。そして私たちと同じ社会の一員でもある障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動を習得する。なお、近年の話題の中心である口から食べる機能とその障害についても理解を深める。 関連するCP: CP1,CP2　　科目No. S2C09H07		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	①障害者の定義、社会的現状、障害者およびその保護者の気持ちを理解し説明できる。 ②障害者の歯科診療において重要な行動調整について理解し説明できる。 ③一般の診療所でも多く遭遇する知的能力障害、ダウン症候群、自閉スペクトラム症、脳性麻痺などの障害について、その定義、特徴、歯科的対応について理解し説明できる。 ④種々の障害者に対する口腔清掃指導の方法について理解し説明できる。 ⑤正常な摂食機能の発達と障害者の摂食嚥下障害、およびそれを改善する摂食機能療法について理解し説明できる。		
授業概要	障害者の歯科医療では治療や指導および患者管理に特別の配慮を必要とする。その際に必要な身体的、知的、および精神的特徴と特有の口腔機能障害について理解する。そして社会の一員でもある障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動を修得する。なお、一般医療において重要視されている口から食べる機能とその障害についても理解を深め、対応法についても解説する。		
評価方法	本試験(100点満点:国家試験形式)(100%)評価 ただし、授業参加度、小テスト、およびレポートにより増減点 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】30分間 【復習】30分間		
教科書	「歯科衛生士学シリーズ 障害者歯科学」医歯薬出版		
参考書	「歯科衛生士講座 障害者歯科学」永末書店 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション」医歯薬出版		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	月:16:00～17:00 miyagi@kdu.ac.jp(メールなどで連絡下さい)		

実施回	第1回	実施日	2026/04/13 (月)	時限	2	班	
授業計画	障害者および障害者歯科の定義、現状、歴史 ① 障害者の定義を説明できる。 ② ノーマライゼーションについて説明できる。	予習	教科書 P1-18, 192-193を読んでおくこと				
		復習	障害者の定義、ノーマライゼーションを再確認する				
		キーワード	障害者、知的障害、身体障害、精神障害、ICIDH、ICF、ノーマライゼーション、バリアフリー、QOL				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実施回	第2回	実施日	2026/04/20 (月)	時限	2	班	
授業計画	障害者の生活と歯科的支援 ① 障害者歯科の定義・歴史を説明できる。 ② 多職種連携(チームアプローチ)を説明できる。 障害者の歯科医療と患者の行動調整1 ①行動変容法について説明できる。	予習	教科書 P1-18および77-88を読んでおくこと				
		復習	多職種連携(チームアプローチ)について再確認する				
		キーワード	ST、PT、OT、障害受容、一次/二次/三次医療、障害者総合支援法				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実施回	第3回	実施日	2026/04/27 (月)	時限	2	班	
授業計画	障害者の歯科医療と患者の行動調整2 ①種々の行動調整法を説明できる。	予習	教科書 P77-96を読んでおくこと				
		復習	行動調整法の名称について再確認する				
		キーワード	行動変容法、刺激統制法、脱感作法、TSD法、モデリング法、カウント法、フラッディング法、レスポデント条件付け、オペラント条件付け、トークンエコノミー、レスポンスコスト法、シェイピング法、タイムアウト法、反射抑制肢位、体動のコントロール、静脈内鎮静法、全身麻酔法				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実施回	第4回	実施日	2026/05/11 (月)	時限	2	班	
授業計画	視覚・聴覚障害と歯科的対応 ① 視覚障害とその対応について説明できる。 ② 聴覚障害の症状と対応について説明できる。	予習	教科書 P44-47, 77-79を読んでおくこと				
		復習	視覚・聴覚障害の対応を再確認すること				
		キーワード	視覚障害、聴覚障害、弱視、伝音性・感音性難聴				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実施回	第5回	実施日	2026/05/18 (月)	時限	2	班	
授業計画	てんかんと歯科的対応、障害者と薬剤 ① てんかんの症状と対応について説明できる。 ② 障害者が多く服用する薬剤について説明できる。	予習	教科書 P41-44を読んでおくこと				
		復習	てんかんの定義と対応、および歯肉増殖を起こす薬剤を再確認すること				
		キーワード	大脳ニューロン、特発性、症候性、全般発作、焦点発作				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実施回	第6回	実施日	2026/05/25 (月)	時限	2	班	
授業計画	知的能力障害と歯科的対応(含:ダウン症候群) ① 知的障害の種類・特徴および症状と対応について説明できる。 ②ダウン症候群の症状と対応について説明できる。	予習	教科書 P19-21, 58-62, 108-109, 111-111および194を読んでおくこと				
		復習	知的能力障害とダウン症候群の全身・口腔内症状を再確認すること				
		キーワード	IQ、DQ、生理型、病理型、21トリソミー、眼瞼裂斜上、内眼角贅皮、鞍鼻、狭口蓋、巨舌、歯の先天性欠如、萌出遅延、染色体異常				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実施回	第7回	実施日	2026/06/01 (月)	時限	2	班	
授業計画	発達障害(除く自閉スペクトラム症)と歯科的対応 ① 限局性学習症の症状と対応について説明できる。 ②注意欠如多動症の症状と対応を説明できる。	予習	教科書 P24-26を読んでおくこと				
		復習	限局性学習症と注意欠如多動症の特徴を再確認すること				

		キーワード	発達障害、LD、ADHD、SLD、境界知能
授業形態	講義	担当	○宮城

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/06/08 (月)	時限	2	班	
授業計画	自閉スペクトラム症と歯科的対応 ①自閉スペクトラム症の症状と対応について説明できる。	予　習	教科書 P21-24, 80-82, 109-111を読んでおくこと				
		復　習	自閉スペクトラム症の特徴と対応法について再確認すること				
		キーワード	自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、自閉症スペクトラム障害、視覚支援、サヴァン症候群、感覚過敏、触覚過敏、聴覚過敏				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実 施 回	第9回	実 施 日	2026/06/15 (月)	時限	2	班	
授業計画	脳性麻痺とその歯科的対応 ①脳性麻痺の種類・症状と対応について説明できる。	予　習	教科書 P26-30, 115-117,を読んでおくこと				
		復　習	脳性麻痺の全身と口腔症状について再確認すること				
		キーワード	CP、痙直型、アテトーゼ型、固縮型、原始反射、咬反射、反射抑制肢位、非対称性緊張性頚反射、緊張性迷路反射、驚愕反射				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実 施 回	第10回	実 施 日	2026/06/22 (月)	時限	2	班	
授業計画	重症心身障害、進行性筋ジストロフィーと歯科的対応 ① 重症心身障害について説明できる。 ② 進行性筋ジストロフィーについて説明できる。	予　習	教科書 P67-71, 31-32を読んでおくこと				
		復　習					
		キーワード	重症心身障害、大島の分類、デュシャンヌ型、福山型筋ジストロフィー、X連鎖性劣性遺伝、常染色体劣性遺伝、仮性肥大				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実 施 回	第11回	実 施 日	2026/06/29 (月)	時限	2	班	
授業計画	重心施設などにおける歯科衛生士の役割 ①障害者施設の実態を理解し説明できる。 ②重症心身障害について再度理解する。[レポート作成]	予　習	教科書 P67-71, 115-117を読んでおくこと				
		復　習	重症心身障害について全身と口腔内症状を再確認すること				
		キーワード	重症心身障害、通所施設、入所施設				
授業形態	講義	担当	○鈴木(招聘講師), 宮城				

実 施 回	第12回	実 施 日	2026/07/06 (月)	時限	2	班	
授業計画	ALS(筋萎縮性側索硬化症)、脊髄損傷、関節リウマチと歯科的対応 ①ALSについて説明できる。 ②脊髄損傷について説明できる。 ③関節リウマチについて説明できる。	予　習	教科書P37-38, 32-34および120を読んでおくこと				
		復　習	ALSと脊髄損傷および関節リウマチについて全身と口腔内症状を再確認すること				
		キーワード	ALS、脊髄損傷、関節リウマチ				
授業形態	講義	担当	○宮城				

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/07/13 (月)	時限	2	班	
授業計画	障害者に対する口腔衛生管理 ①障害者への口腔衛生管理について説明できる。	予　習	教科書 P103-121, 167-191を読んでおくこと				
		復　習	種々の障害者への刷掃指導法を再確認する				
		キーワード	口腔衛生管理、口腔機能管理、口腔ケア、保湿剤				
授業形態	講義	担当	○村井(招聘講師)、宮城				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/07/27 (月)	時限	1	班	

授業計画	摂食嚥下機能とその障害 ①摂食嚥下機能について説明できる。 ②摂食嚥下機能障害の栄養管理について説明できる ③摂食嚥下障害の評価法について説明できる。 ④摂食機能療法について説明できる。	予　習	教科書 P129-152を読んでおくこと
		復　習	摂食嚥下の仕組みを再確認する
		キーワード	摂食嚥下、摂食5期モデル、触角過敏、経腸栄養、静脈栄養、栄養評価、スクリーニングテスト、反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト、フードテスト、精密検査、VF、VE 摂食機能療法、間接訓練、直接訓練
授業形態	講義	担当	○宮城

実 施 回	第15回	実 施 日	2026/07/27（月）	時限	2	班	
授業計画	振り返り授業 ①障害者歯科全般について整理し、理解する。 ②練習テスト	予　習	今まで学んだ教科書の該当ページと配布プリントを読んでおくこと				
		復　習	不確実な問題をチェックすること				
		キーワード					
授業形態	講義	担当	○宮城				